

様式第9号（第5条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市白石島2364番地2
協 議 会 名	白石・島づくり委員会
協 議 会 長 名	会長 樋口 栄吉

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 116 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 1,044,948 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額（Ⅰ）	変更交付申請額（Ⅱ） (交付金決算額)	返還額 (Ⅰ)－(Ⅱ)
1,050,000	1,044,948	5,052

- 2 交付金が減額変更になった理由

経費節約に努めた為

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第10号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第11号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第10号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書

協議会名 白石・島づくり委員会

実施期間		令和 6 年4月1日 から 令和 7 年3月31日 まで			
開催結果	会議の種類		開催結果		
	総会 ※または総会に準ずるもの		開催時期： 5 月， 開催形式： 対面		
	その他会議		開催回数： 11 回 会議の種類： 定例会議4/17. 5/8. 6/5. 7. 38/7. 9/4. 10/9. 11/6. 12/11. 1/8. 2/5. 3/5		
活動費の活動結果	活動名		活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容
	白石島情報発信活動	成果	令和7年3月に第356号発行。毎月発行を継続して行う事ができた。公式LINEや島内掲示板など年齢層や土地柄にあわせた情報発信に努めた。		島内外への情報発信の為、月に一回発行の「ふるさと新聞」の作成・配布を行う 毎月発行し合計12回の制作 発行を行った。公式LINEや島内掲示板など年齢層や土地柄にあわせた情報発信を行った。
		課題	島内新聞により活動の広報を積極的に行い島民の活動への周知や参加を促したい。紙ベースの広報・LINEでの広報・掲示板などでの広報など年齢層や土地柄に沿った広報の方法の模索が必要		
	白石島島内環境整備活動	成果	継続して島内の環境維持を行う事ができた。		高齢化に伴う参加人数の減少の中、備蓄庫の草刈りや大溝の清掃フェリー乗り場・海浜清掃を行い島内の環境維持に努めた。
		課題	参加者の高齢化も進んでいるため、機械の導入や事故対策などを継続して行って行きたい。		
	白石島未来計画策定活動	成果	全島民アンケートを実施した内容を基に4回のワークショップを行い、計画について具体的に話し合った。その結果 空き家部会の立ち上げ、危機管理課への防災出前講座の依頼など計画を立てながら課題解決を目指して活動した。		笠岡市まちづくり課・みんなの集落研究所と協議を重ね合計4回のアンケート共有会を実施した。防災・空き家などの関心の高い分野でのワークショップを重ね、地域住民の意見を反映した具体的な計画に進めるように努めている。
		課題	令和5年度にアンケートを基に令和6年度に行ったワークショップで抽出したみんなの思いを反映した具体的な未来計画を策定し発信を行っていく		
		成果			
		課題			
		成果			
		課題			

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動名	活動実施による成果及び課題		具体的な活動内容	
活動費の活動結果	成果			
	課題			
	成果			
	課題			
	成果			
	課題			
	行政間連携事業	成果		
	課題			
行政間連携事業	成果			
課題				

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第 1 1 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書

協議会名 白石・島づくり委員会

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金(①+②)	(Ⅰ) 1,050,000	1,050,000	0	
①市交付金	1,000,000	1,000,000	0	
②市交付金加算枠	50,000	50,000	0	
広報活動	50,000	50,000	0	広報発行数：年 12 回 交付金の種類：運営 交付金
まちづくり計画策定		0	0	策定期間： 交付金の種類：交付金
行政間連携事業		0	0	
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
計	1,050,000	1,050,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
人件費	800,000	799,200	800	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
賃借料		0	0	〃
光熱水費	35,000	22,476	12,524	〃
運営費	51,000	49,420	1,580	
消耗品費	26,000	29,420	△ 3,420	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
食糧費		0	0	〃
印刷製本費		0	0	〃
修繕料		0	0	〃
通信運搬費	25,000	20,000	5,000	〃
手数料		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
		0	0	〃
		0	0	〃
活動費	164,000	173,852	△ 9,852	
白石島情報発信活動	71,000	91,190	△ 20,190	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり
白石島島内環境整備活動	78,000	45,440	32,560	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり
白石島未来計画策定活動	15,000	37,222	△ 22,222	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり
行政間連携事業	0	0	0	
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑪」のとおり
			0	
			0	
計	1,050,000	1,044,948	5,052	決算額のうち市交付金分 (Ⅱ) 1,044,948

市交付金の返還額

(Ⅰ) - (Ⅱ) 5,052 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

運宮費

人件費

1

[illegible]

出 納 簿

交付金区分 運営交付金

活動名 運営費

費目 光熱水費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	3	31	白石島老人クラブ連合会	事務所ふれあいの家の電気水道代として	22,476	22,476
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						22,476	

出 納 簿

交付金区分	運営交付金	
活動名	運営費	
費目	需用費	消耗品費
No.	1	

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	9	14	コーナン商事（株）	プリンターインク代	4,952	4,952
2	6	10	21	コーナン商事（株）	プリンターインク代	6,987	11,939
3	7	2	15	コーナン商事（株）	プリンターインク代	4,708	16,647
4	7	3	27	コーナン商事（株）	プリンターインク代	10,595	27,242
5	7	3	27	ユーホー笠岡店	A4コピー用紙一箱	2,178	29,420
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						29,420	

出納簿

交付金区分	運営交付金	
活動名	運営費	
費目	役務費	通信運搬費
No.	1	

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	9	6	三洋汽船（株）	船賃として	1,170	1,170
2	6	9	6	（株）瀬戸内中央観光汽船	船賃として	550	1,720
3	7	1	25	三洋汽船（株）	船賃として	1,170	2,890
4	7	2	28	NTTドコモ	事務所用携帯代として	17,110	20,000
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						20,000	

事業費計

91, 190

1 円

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回＝15,400円
計	0	

[illegible]

活動名 白石島島内環境整備活動

45,440

四

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回＝15,400円
計	0	

需用費

[illegible]

活動名 白石島未来計画策定活動

37,222	円
--------	---

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
1視察時船賃	4,000	白石笠岡間フェリー代 500円×8名分=4000円
2視察時船賃	4,690	笠岡白石間船賃 670円×7名分=4690円
3会議出席時船賃として	2,580	白石笠岡間フェリー代 550円×2名分=1100円 笠岡白石間船賃1170円 神島外浦白石間船賃310円
計	11,270	

需用費

[illegible]

[illegible]

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

内 容	金 額	積 算
計	0	

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

自己評価シート
(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	白石・島づくり委員会
活動名	白石島情報発信活動

活動目的	島内外への情報発信を行う事により協働のまちづくり活動への周知を行う
活動内容	島内外への情報発信を行う事により協働のまちづくり活動への周知を行う

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進, 地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について
4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
令和7年3月に第356号発行。毎月発行を継続して行う事ができた。公式LINEや島内掲示板など年齢層や土地柄にあわせた情報発信に努めた。	島内新聞により活動の広報を積極的に行い島民の活動への周知や参加を促したい。紙ベースの広報・LINEでの広報・掲示板などでの広報など年齢層や土地柄に沿った広報の方法の模索が必要
今後の活動の方向性・改善策	
令和5年度はコロナの五類化・船便の減便・フェリーの運休などをはじめ、商店の営業時間の減少など人口減少以外の島民の生活スタイルの変化が激しい年度でしたが、令和6年度は白石島の唯一の商店の閉店があり大きな生活スタイルの変化があった。様々な方法で情報発信を行うが高齢化・人口減少により島内の様々な活動・行事への参加人数の減少が顕著になってきていると感じている。引き続き持続可能な体制づくりを目指して活動していく為に様々な情報発信を模索していきたい。	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	白石・島づくり委員会
活動名	白石島島内環境整備活動

活動目的	島内の必要箇所をピックアップしボランティアを募り環境整備を行い使用可能な状態の維持を目指す
活動内容	作業機械の導入や清掃計画により参加者の負担を減らすとともに地域の力で持続可能な体制づくりを行う

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
継続して島内の環境維持を行う事ができた。	参加者の高齢化も進んでいるため、機械の導入や事故対策などを継続して行って行きたい。
今後の活動の方向性・改善策 令和5年度はコロナの五類化・船便の減便・フェリーの運休などをはじめ、商店の営業時間の減少など人口減少以外の島民の生活スタイルの変化が激しい年度でしたが、令和6年度は白石島の唯一の商店の閉店があり大きな生活スタイルの変化があった。高齢化・人口減少により地区の清掃など毎年行っている活動への参加人数の減少が顕著になってきている。引き続き持続可能な体制づくりを目指して活動していく為に機械の導入や活動場所や時期の再検討など様々な方法を模索していきたい。	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 3

協議会名	白石・島づくり委員会
活動名	白石島未来計画策定活動

活動目的	具体的な計画を策定する事により地域の問題の可視化と共有を行う
活動内容	地域の問題の可視化と共有を行う事により、解決に向けての道筋を明確にし、力を合わせる事で持続可能な地域作りを目指す

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
全島民アンケートを実施した内容を基に4回のワークショップを行い、計画について具体的に話し合った。その結果 空き家部会の立ち上げ、危機管理課への防災出前講座の依頼など計画を立てながら課題解決を目指して活動した。	令和5年度にアンケートを基に令和6年度に行ったワークショップで抽出したみんなの思いを反映した具体的な未来計画の策定を策定し発信を行っていく
今後の活動の方向性・改善策	
令和5年度はコロナの五類化・船便の減便・フェリーの運休などをはじめ、商店の営業時間の減少など人口減少以外の島民の生活スタイルの変化が激しい年度でしたが、令和6年度は白石島の唯一の商店の閉店があり大きな生活スタイルの変化があった。高齢化・人口減少により進む中、基幹となる計画作りの見える化を行い、引き続き持続可能な体制づくりを目指す。	